

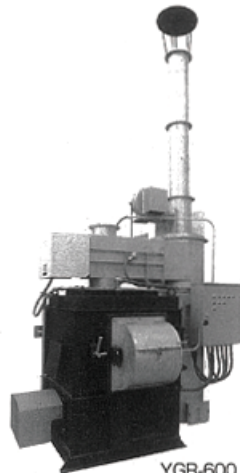
DAITO

ハイグレードな乾湿両用焼却炉  
乾燥物との同時処理で燃費削減

DAITOは3月1日、乾湿両用焼却炉のハイグレードモデル「YGR-600」を発売した。1時間あたりの処理

能力は16<sup>+</sup>グラム。乾いた木くずや廃プラなどを合わせて燃やすことで、乾燥用助燃バーナーの使用頻度を減らし、燃費の

大幅削減を可能にした。炉内側壁のエア供給をバランス良く配置し、燃焼効率を高めた。送風機の追加で、さらなる



YGR-600

効率向上が可能に。長時間安定して燃焼できる水冷式と自動温度制御を採用した。生ごみのような湿った廃棄

物は、助燃バーナーで素早く乾燥させて処理する。一次燃焼室容積は0.42立方メートル。煤塵の捕集

効率が高いサイクロン集塵室、耐火レンガと断熱

ボードの二重構造も特長に挙げている。

スタンダードモデル「YP-II-400」も同時発売する。1時間あたりの処理能力は25<sup>+</sup>グラム。既存のMDP-II

モデルをベースに開発した。燃えにくく、湿った廃棄物を旋回燃焼技術で効率よく処理する。

「昨年9月に発売したミドルグレードのYSPモデルと合わせた3機種

のラインナップで、ニーズに合わせて選択できるようにした」(同社)と

いう。標準価格は、YGR-600を480万円、YP-II-400を220万円に設定した。

標準価格は、YGR-600を480万円、YP-II-400を220万円に設定した。